

指定緊急避難場所・指定避難所一覧

市内には46カ所の避難場所が指定されていましたが、災害対策基本法の改正に伴い指定緊急避難場所および指定避難所を指定しました。災害発生の危険性があつたり、家にとどまるのが怖くなって避難を考えたりするような場合には自主避難も可能ですので、必ず事前に地域安全課(☎@7444)へ連絡してください。

自主避難所の開設

指定避難所とは異なり、希望者に対して一時的に開設する避難所です。
各地区公民館を自主避難所として開設します

指定緊急避難場所・指定避難所

※災害時に開設できる場所は○、開設できない場所は×としています

指定緊急避難場所

災害が発生した際、一時的に身の安全を確保することができる場所です。施設の立地条件や耐震性など、構造条件によって洪水・土砂災害・地震や火事など、災害の種別ごとに指定されています。

指定避難所

災害が発生し避難した場合に、災害の危険性が無くなるまで一定期間滞在し、避難生活を送ることができる場所です。物資の搬入が比較的容易で、被災者が滞在するのに必要な規模の場所が指定されています。

指定緊急避難場所	災害種別				指定避難所
	洪水	土砂	地震	大規模火災	
東中学校	○	○	○	○	○
藤岡公民館	○	○	○	×	○
藤岡工業高校	○	○	○	○	○
北中学校	○	○	○	○	○
群馬医療福祉大学	○	○	×	○	○
藤岡第二小学校	○	○	○	○	○
藤岡第一小学校	○	○	○	○	○
総合学習センター	○	○	○	○	○
みかぼみらい館	○	○	○	○	○
神流小学校	○	○	○	○	○
藤岡中央高校	○	○	○	○	○
小野小学校	○	○	○	○	○
小野中学校	○	○	○	○	○
西中学校	○	○	○	○	○
美土里小学校	○	○	○	○	○
藤岡北高校	○	○	○	○	○
長津公会堂	×	○	×	×	×
七輿の門	○	○	○	○	×
美九里東小学校	○	○	○	○	○
美九里公民館	○	○	○	×	×
美九里西小学校	○	○	○	○	○
保美公会堂	○	○	×	×	×
コミュニティセンターやすらぎ	○	×	○	×	○

指定緊急避難場所	災害種別				指定避難所
	洪水	土砂	地震	大規模火災	
高山上公会堂	○	○	○	×	×
西平井公会堂	○	○	○	×	×
平井小学校	○	○	○	○	○
東平井公民館	○	○	○	×	×
白石公民館	○	○	×	×	×
三ツ木公会堂	○	○	×	×	×
日野小学校	○	○	○	○	○
旧日野中央小学校	○	×	○	○	×
鹿島住民センター	○	×	×	×	×
旧日野西小学校	○	×	○	○	×
小柏公会堂	○	×	×	×	×
奈良山公民館	○	×	×	×	×
御荷鉾公会堂	○	○	×	×	×
鬼石小学校	○	×	○	○	○
鬼石中学校	○	○	○	○	○
鬼石北小学校	○	○	○	○	○
鬼石多目的ホール	○	○	○	○	○
体験学習館	○	○	○	×	○
譲原防災センター	○	×	○	×	×
保美濃山コミュニティセンター	○	×	○	×	×
坂原公民館	○	×	×	×	×
美原五区集会所	○	×	○	×	×
法久集会所	○	×	×	×	×

9月1日は防災の日

いざという時に備えて

防災対策



防災の日は、関東大震災(大正12年9月1日発生)に由来し制定されました。災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために日頃から準備しておきましょう。

問い合わせ 地域安全課(☎@7444)

準備1

持ち出し品はすぐに持ち出せるように!

大規模災害時に被災地まで救援物資が届くには、おおむね3日かかると言われています。非常時持ち出し品は必要最低限な物にしてリュックサックなどにまとめ、すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

Check

- ✓ 家族の役割分担も考えて、一人一つの非常時持ち出し袋を用意しましょう
- ✓ 非常時持ち出し品は高齢者や乳幼児などの家族構成に併せて必要な物を加えておきましょう
- ✓ 非常時持ち出し品は保存状態や使用(賞味)期限などを定期的に点検し、必要に応じて交換しましょう

非常食品

- 栄養補助食品・缶詰
- 飲料水 など

生活用品

- 厚手の手袋・軍手
- 毛布
- 生理用品
- 携帯用トイレ
- ライター・マッチ など

衣料品

- 下着・靴下
- 長袖シャツ・長ズボン
- 防寒用ジャケット・雨具 など

救急用具

- 救急箱
- 持病の薬
- 処方箋の控え など



準備2

避難所の確認!

家族と離れた場所で災害に遭ったとき、連絡手段を事前に決めておくことで安心です。またあらかじめ自分たちで避難場所までの避難経路を複数決めておき、その中から安全に通行できる経路で避難しましょう。



集合場所・避難場所

どこで落ち合うか



行き先のメモを残す場所・方法

玄関扉の裏など



災害時の連絡手段

災害用伝言サービスなど

準備3

地図の確認!

洪水ハザードマップとは河川が大雨により増水し、氾濫した場合に備え、浸水状況を予想して、自主避難の手助けとなる情報が記載された地図です。

自分の家や周辺の様子など危険箇所がどこにあり、どこが浸水想定区域内に入っているのかを洪水ハザードマップで確認してください。平時より水害リスクを認識したうえで、氾濫時の危険箇所や避難場所についての正確な情報を把握することが重要です。自宅から避難所までのルートを確認し、実際に歩くことにより、地図にないリスクなども確認することができます。家族での話し合いや地域での話し合いに活用してください。

洪水ハザードマップはホームページからも確認できます。



▶洪水ハザードマップはこちらから